

## 地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

令和5年(2023年)6月21日

提出区分	実績	整理番号	4	課題区分	C	令和5年(2023年)6月21日	
横断的な課題	1 移住に結びつく人と知の流れの創出と地消地産や産業振興による地域の活性化					上田地域振興局	
地域重点政策	1 若者・女性・外部人材の活躍推進					上田地域振興局	
実施機関	上田地域振興局			担当課	所属	商工観光課	
事業名	若者の地域への就業促進事業				電話	0268-25-7140	
					E-mail	uedachi-shokan@pref.nagano.lg.jp	
事業の概要等	目的 (目指す姿)	中学校における産学官協働のキャリア教育実施を支援することを通じ、若者の地域での就業を促進する。					
	現状と課題	上田地域では進学等で地域を離れる若者が多い。また、公立化した長野大学では、出身地に戻ることを希望する県外出身学生が急増するなど、若者の地域への就業促進が大きな課題となっている。一方、学校におけるキャリア教育においては、地域の産業・企業について具体的に知る機会をさらに増やすことが重要と考えられている。また、新型コロナウイルス感染症を主な起因とした、新しい働き方(リモートワーク等)についても、キャリア教育において学ぶことが必要であると考えられる。前年度の本事業ではモデル校の丸子中学校2年次生のキャリア教育で、講演会や講座のほか、管内企業38社で職業インタビューを実施した。実施後の生徒へのアンケートで地元企業に対する興味関心の向上が確認でき(75%)、将来の地域企業への就業促進につなげていきたい。成果品のキャリア教育用のワークブック及び報告書を管内中学校に配布したが、キャリア教育には実体験が不可欠であり、モデル校に留まらず、実体験を伴うキャリア教育の管内他校への普及・拡大への支援が必要である。					
	内容 (変更後の内容)	前年度までのモデル事業を踏まえ、中学校(今年度は公募で2校選定予定)の2年次における職場体験学習やインタビュー活動等のキャリア教育の実施を支援する。 1 受入事業所の確保、調整 対象校において日程及び実施内容を打ち合わせの上、受入事業所を確保する。新型コロナウイルス感染症の状況も鑑みながら、オンラインでの実施も柔軟に検討する。なお、事業所の選定にあたっては、ゼロカーボンに取り組んでいる事業所等を積極的に選定する。 2 事前学習の支援 前年度に作成した事前学習用教材等を活用しながら、上田地域の産業や企業について学ぶ機会を提供するとともに、生徒のキャリア形成を考える機会となるようコーディネートする。 3 当日の運営補助 円滑な実施ができるよう運営主体である学校を補助するため立ち会うとともに、実施内容を記録する。					
事業期間	令和4年(2022年) 5月			～	令和4年(2022年)12月		
事業費等	(単位:円)						
	事業を構成する細事業名等	実施内容		実績額	備考		
	キャリア教育実施支援	中学校2校を対象に、キャリア教育実施を支援		880,000	委託費		
	合計		880,000				
指標及び達成状況	成果指標			目標値	成果	達成状況	
	地域で働くことへの興味が高まった生徒の割合			7割以上	74%	● 達成	
						○ 一部達成	
事業実績・成果	【実績】 ・(株)コミュニケーションズ・アイに委託し実施した。 ・上田市内の2つの中学校において、事前学習会を1回、職場体験を2日間ずつ実施。 ①上田市立第五中学校(2学年 在籍162人) 事前学習会・・・6月28日に実施 職場体験・・・7月13日、7月14日に実施(※受入事業所数/54者) ②上田市立第二中学校(2学年 在籍100人) 事前学習会・・・7月8日 職場体験・・・7月19日、7月20日に実施(※受入事業所数/38者) ・上田地域の76者の事業所に職場体験の受入をしていただいた。						
	【成果】 事業実施後のアンケートでは、地元で働くことへの興味が高まった生徒の割合は、74%となった。 本事業を通して、地元の若者に上田地域の産業・企業を知ってもらう機会を提供することができ、将来、上田地域で就業するというイメージをもってもらうきっかけづくりができた。						
今後の方向性	今後は若者だけでなく、女性、障がい者、外国人等、様々な立場の就労希望者への支援が必要であると考えられる。特にR5年度については、地域振興推進費を活用し、女性向けの就労相談会や就労セミナーを開催する予定。						